

25日 水曜

Iコリント

11:17 ところで、聞いていただくことがあります。私はあなたがたをほめません。あなたがたの集まりが益にならないで、かえって害になっているからです。

11:18 まず第一に、あなたがたが教会の集まりをするとき、あなたがたの間には分裂があると聞いています。ある程度は、それを信じます。

11:19 というのは、あなたがたの中ではんとうの信者が明らかにされるためには、分派が起るものもやむをえないからです。

11:20 しかし、そういうわけで、あなたがたはいっしょに集まつても、それは主の晚餐を食べるためではありません。

11:21 食事のとき、めいめい我先にと自分の食事を済ませるので、空腹な者もおれば、酔っている者もいるというしまつです。

11:22 飲食のためなら、自分の家があるでしょう。それとも、あなたがたは、神の教会を軽んじ、貧しい人たちをはずかしめたいのですか。私はあなたがたに何と言ったらよいでしょう。ほめるべきでしょうか。このことに関しては、ほめるわけにはいきません。

11:23 私は主から受けたことを、あなたがたに伝えたのです。すなわち、主イエスは、渡される夜、パンを取り、

11:24 感謝をささげて後、それを裂き、こう言われました。「これはあなたがたのための、わたしのからだです。わたしを覚えて、これを行ないなさい。」



Bible Reference
聖書の記述

11:25 夕食の後、杯をも同じようにして言われました。「この杯は、わたしの血による新しい契約です。これを飲むたびに、わたしを覚えて、これを行ないなさい。」

11:26 ですから、あなたがたは、このパンを食べ、この杯を飲むたびに、主が来られるまで、主の死を告げ知らせるのです。

教会の混乱の第二番目は分裂と、それをもたらしそうな主の晚餐についてです。

分裂も「やむをえない」場合があるとパウロは言います。「本当の信者が明らかにされるため」です。間違った神観、聖書観、教会観などを持つ続ける人は、教会の交わりからは去って行くのも「やむをえない」ということです。ただパウロは冷たい心でこれを書いているのではなく、「涙をもって」と他の箇所で書いているように、大きな痛みを伴つてのことです。

パウロが最も問題にするのは上述のことではなく、主の晚餐が害になっていてそれで「分裂があると聞いて」いるからです。主の晚餐とはイエス様の最後を思いながら、その救いにあづかった者たちが心を1つにして、感謝し信仰を新たにするものです。しかし、そうではなく「害になっている」というのです。

その原因は豊かな者は自分の食べ物を楽しんで、貧しい者に分け与えもせずにいるということです。それで貧しい人々は恥ずかしい思いをしていました。主の晚餐（または聖餐）はイエス様を覚えるためのものですから、そこには愛がなければなりません。ならば主にある交わりも同じで、互いのための思いやりが大切です。

教会には様々な面で乏しい人、悲しんでいる人、弱っている人などが集っています。思いやることに「これで十分」ということはないでしょう。主を覚えるためにも、分かち合い支え合いましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

